

## 議事録（要旨）

委員：新型コロナウイルスの5類移行後、利用者は増えたか。

市：増えた。特に小学校高学年の利用者が増えた。まだ保護者の方で児童館で遊べることを知らない方がいる。情報発信を行っていきたい。

委員：昨年度から、児童館だよりを地区で回覧し始めたと思う。認知度を高めないことには利用者は増えていかない。回覧板が回っており良かったなと思った。私自身も、孫に「行ってこんね」と呼びかけている。民生委員にも児童館の年間行事予定が配られていて情報共有できて良い。私の理想は児童館が子どもたちにとって第3の居場所になるということ。高学年の子たちが来ているのはいい。小さい子のお世話をしようと思っ

市：そういう子もいる。土曜チャレンジの際はキッズボランティアをやってもらっている。

委員：昨年度に、なかなかどこにも馴染めない子が児童館に来て子どもたちの遊び相手になっていると聞いた。そんな子にはボランティアの名札などをつけることでその子の自己肯定感などを上げられると思う。ここに来てボランティアをしようと思っている子には名札などを付けるのがいい。去年は土曜チャレンジが人気で定員が狭きものだった

市：定員は増やしている。

委員：高学年、中学生の活躍の場がここにできるとお互い成長できる。

市：今度、東与賀出身の高校2年生が職場体験に来る予定。以前から児童館を利用していた子。

委員：職場体験に来るということはここでいい影響があったということ。児童館に求めることは、アンケートにも出ているように、イベントと人との交流。児童館の先生との交流があることで、孤独感を感じずらくなる。第3の場所というのは大事。

市：悩んでいるときなどの拠り所になっていければいい。たまに小学校の体育館の裏にいて教室に入れずにいる子がいる。そんな時は、小学校に連絡を入れた上で児童館においてと声をかけている。児童館だより8月号には、児童館においてよと呼びかけた文を掲載している。

委員：子どもたちのマナーはどうか。

市：すごくいい子。子どもたち同士で遊びのやり方を考え遊んでいる。